

## 海外における家計調査の実施状況

	アメリカ	カナダ	イギリス	フランス	ドイツ	オランダ	日本 (参考)
目的	CPI作成の基礎資料(項目、ウェイト等)であるが、SNA推計には利用されていない。	CPIウェイト更新及びSNA推計の際の基礎資料として利用されている。	Retail Prices Index(小売物価指数)作成の基礎資料であり、SNA推計に利用されている。	CPIのウェイト算出、国民経済計算の消費支出推計に使用する目的のほか、世帯の支出について分析する目的などに利用されている。	CPIのウェイト更新、GDPの支出部門算出に使用する目的のほか、貧富についての研究等、国家の世帯収支状況を把握するデータベースとして利用されている。	CPIのウェイト算出、国民経済計算の世帯支出の推計、世帯における消費支出の全体像を捉えるなどの目的のほか、政策(特に税制)の効果を図るために利用されている。	月例の景気判断、GDP速報の基礎資料、政策の立案のための参考指標(生活保護基準など)のほか、CPIのウェイト算出の基礎資料として利用されている。
調査方法 期間	家計簿調査(1週間を継続して2回)、及びインタビュー調査(計5回、13ヶ月間)を別の調査世帯に対して実施。	インタビュー調査(購入頻度の低いもの)を行った後、家計簿調査(2週間)を実施。	家計簿調査(2週間)とインタビュー調査(1回)を実施。	家計簿調査と、CAPIを使ったインタビュー調査を実施。1年間に、6つの調査期間単位(それぞれ8週間)がある。	家計簿調査とインタビュー調査を実施。5年に一度行われる大規模調査EVSと、EVSの行われない年に行われるLWRがある。EVSでは、調査世帯の一部で更に詳細な家計簿記入を行っている。	家計簿調査とインタビュー調査を実施。2つの調査方法を使って、結果を推計。	家計簿調査(半年)が主であるが、世帯属性については調査員による聞き取り調査(1回)を実施。
家計簿への 記入内容	一日分が4部門(1家庭外での飲食物、2家庭消費のための飲食物、3衣類靴、宝石、アクセサリ類、4その他全ての製品、サービス、費用)の調査票からなる家計簿を使用。数量調査はないが、1についてはアルコール飲料への支出額、2については支出項目の形態(生物、冷凍、缶詰・瓶詰、その他)、3については誰(性別・年齢)のための支出か、4については自分かそれ以外に対する支出かを記入。	毎日の支出の詳細を記入。レシートの添付も可能。	毎日の支出の詳細(重量も)を記入。一定の年齢(7歳)に達した世帯人員すべてに対して個別の調査票(7歳から15歳までは簡素化されたもの)を配布。	調査員の1回目の訪問時に、14歳以上の世帯員全員に配布された家計簿に、購入額、数量、購入先を記入、もしくはレシートを添付する。調査員の2回目の訪問時に、手交もしくは郵送で提出。記入期間は2週間。	調査世帯の4分の1づつ、収支を記した家計簿をつける。記入期間は3か月間。EVSでは、この調査に加え、5分の1の調査世帯については、飲食物、タバコの購入数量を含めた詳細な家計簿をつける。記入期間は1か月間。	購入月日、品目、数量、金額、購入先を記入。調査1:20ユーロ以上の支出を記録。他に、エネルギー消費量記録リスト、休暇支出記録ノート(1-3泊以上の休暇を取った場合記入)、資産負債票を記入。3か月間。調査2:すべての支出を記録。他に、調査期間の支出記入リストへ、住居費、保険料などの固定費を記入。希望があれば、調査員が3回訪問し、レシートの記入などを手伝わせることができる。半月間。	毎月の収入及び支出を記入。支出については、品目ごとに購入金額、購入数量を記入。
インタビュー 調査の内容	世帯属性、月間の支出(住居、被服、乗物、保健医療、娯楽、保健・年金等)、及び年収について聴取する。世帯、支出データともにCAPI(Computer assisted Personal Interview)を用いて調査員が記帳。	世帯構成、住居、家計の支出総額、収入、財産、年金等をCAPIを用いて調査。	収入、家賃、ガス、電話等の定期的な支出、高額消費(過去1年間の自動車等)をCAPIを用いて調査。	1時間程度の訪問を3回行う。1回目:世帯構成、住宅への支出、固定費、交通費などについて、2回目:固定資産と、動産、被服について、3回目:貯蓄や、世帯の経済状況に関する質問について、調査する。	調査開始期に調査員が訪問、もしくはインターネットを通じて、世帯構成、住居等の一般情報を聞き取る。また、1月1日時点での資産保有状況を記入する調査票を世帯へ配布する。	調査1:2週間に一度、調査員は世帯に電話をし、先週までの支出の確認と、世帯の状況等一般的な質問事項について世帯と確認をする。調査2:期間内に支出について確認し、住居や世帯の状況について質問する。	調査対象世帯の世帯員及び住居に関する事項(世帯票)を調査員が記入。
調査方法 回答率等	層化段階抽出 家計簿調査約25,000世帯、インタビュー調査約46,000世帯 代替無し 回答率(2007年): 家計簿調査…70.2% インタビュー調査…73.8%	労働力調査のフレームから層化段階抽出 約20,000世帯 代替無し 回答率(2010年):67% うち、家計簿調査(2010年) 回答率:69%	本国は層化段階抽出、北アイルランドは単純無作為抽出 合わせて約5,500世帯 代替無し 回答率(2010年): 本国…50% 北アイルランド…59%	国内は、国勢調査の結果を新規住民調査(BSLN)の結果で補正、国外は国勢調査の結果から、場所と調査期間単位ごとに抽出。 約20,000世帯(国内) 約5,000世帯(海外県) 代替無し 回答率(2006年):約60%	州ごとに世帯数を割り振り、州の中で、世帯区分、世帯主の社会的地位、世帯収入で層化し、割り当て。 統計局の募集に応じた世帯を調査。 EVS:約60,000世帯 LWR:約8,000世帯 代替有り	調査1:約6,000世帯 調査2:約1,800世帯 代替無し 回答率不明	層化3段階抽出法 約9,000世帯 代替有り 1世帯を確保するために 約3世帯訪問
調査・公表周期	毎年	毎年	毎年	5年に1度	EVS:5年に1度調査、公表 LWR:EVSのない年を調査	毎年	毎月